



# Interactive Training in Communication-Japan

## III

Volume 41  
July 2023


# ITC-J Vol.41 No.3 July 2023

## 目 次


### Table of Contents

今期のテーマ	1	2022-2023 Theme
会長基調演説	2	President's Keynote Speech
役員会年次報告	3	Annual Report
役員からのメッセージ	4	Messages from ITC-J Officers
委員会からのメッセージ	5	Messages from ITC-J Committees
特集「プリズム」	6~8	Feature Article << Prism>>
川西クラブ認証	9	Charter Meeting of Kawanishi Club
会則修正案審議結果	10	Discussion Results of Bylaws Amendments
講演	11	Lecture
教育セッション	12~13	Education Session
年次大会特集	14~17	Annual Conference
スピーチコンテスト	18~19	Speech Contest
謝辞	20	Gratitude Address
次期役員・次期指名委員 次回年次大会案内	21	New Board Members & Nominating Committee Invitation to the Conference in 2024
周年記念会合・周年記念例会	22~24	Memorial Meetings in 2022-23
東京観光	25	Sightseeing in Tokyo
追悼文	26	Memorial Messages for the Departed
ITC-J webサイト会員ログイン方法 / 編集後記		How to Log in to ITC-J Website/Editor's Comment
ITC-J 宣誓 声明文		ITC-J Pledge & Mission Statement

ITC-J 第41期テーマ  
2022 - 2023



柔軟な思考と発想で  
新しいエポックを



## ITC-J会長基調演説



ITC-J 第41期会長 佐野 千賀子

今期もたくさんの皆様にご参加くださって、盛大な年次大会が開けたこと本当にうれしく思っております。

今期初めに、私は三つのことを目指しました。

一つめは、充分議論し最終的には多数決のルールで事を進めたいというものでした。この運営方針に協力していただいた結果、前年度にWEBから外していた教育マニュアルを再びWEBアップできるという大きな成果も得ることができました。各カウンスルから推薦いただいた委員で構成されたマニュアル検討委員会で、議会法規役員のリードの下、議論を重ね、まとめてもらえたことはありがたいことでした。

二つめは、我々の組織は、元は国際的な組織であったという歴史があるので、何らかの形で国際色を保持したいというものでした。今はZoomのようなツールを一般的に利用できる時代になったのでこれを生かしてこの年次大会では、Zoomで世界のITC活動をしているところとつながるワークショップを開いていただくことができました。

三つめは、コミュニケーション力はいつの世にも必要なのに、スマホの普及でこのことが軽視されているという危惧からこの組織で学んだ能力を使って、コミュニケーションの楽しさを広める小さい活動をそれぞれの地域で行う、つまり社会への発信ができたという夢ですが、残念ながらこれはまだ今後同じ志を持っている方々と共に少しずつ資料作りから始めていければという段階です。

以上が私自身の総括ですが、加えて、会長職をして、感じたことを申し上げたいと思います。

会員の皆様は総じて非常に有能で、能力の高い、まじめな方々ばかりと再認識できました。それぞれは素晴らしい特性ですが、時には過去のやり方にとらわれ過ぎたり、自分の考え方が一番いいと思いがちになるくらいがあると思いました。私共の会は、高齢化、会員減少の傾向にみまわれています。何とかより若い会員にも入ってもらいたいと思っています。そのためにも、いつも柔軟に対処し、状況に合ったやり方をしていく必要があると思います。もちろん会則や、この会で決められた組織としての義務は守らなくてはなりません、それ以外の資料やマニュアルは参考資料として柔軟に使ってより良いカウンスルやクラブ運営に生かしていきたいものだと思います。ITC-J本来の目的や決められた方針や運営方法に従いながらも、柔軟さをもって進んでいただきたいと思います。

私たちはこの会に入っているからこそ、今の時代が必要とする技術を使える人として活動できています。ITC-Jに入っていなかったら76歳の私はZoomも使えないただのおばあちゃんだったと思います。会長という重いお役をさせていただいたことで、役員会や委員会のサポートを得ながら、今なお少しずつでも成長できていることに感謝をしています。ITC-Jは私たち会員を成長させてくれます。みなさまも、仲間と共にITC-Jと自分を育てていこうではありませんか。

---

# ITC-J 第41期 役員会年次報告

---

(2022年8月1日～2023年7月31日)

ITC-J第41期役員会は今期テーマ「柔軟な思考と発想で 新しいエポックを」のもと以下の活動を行った。

## 1. クラブ数と会員の状況

ITC-Jは今期8カOUNSL56クラブ名でスタートした。

7月5日現在57クラブ、会員数686名、 新入会員18名、 退会者10名である。

(重複会員37名含まず)

## 2. 研修会報告

(1) カOUNSL会長会は2022年12月3日 京都ガーデンパレスで行った。

(2) カOUNSL運営研修会 (CMT) は2023年7月6日ホテルイースト21東京において選出役員及び議会議法役員とスピーチコンテスト委員長に対して開催する。

## 3. 主たる活動

(1) 役員会は任命役員の議会議法役員、編集者、JCLOも出席し現在までに16回開催した。

(2) 役員は8カOUNSL第一回会合に公式訪問を行いITC-Jの方針を伝えた。

(3) ITC-J会報誌は年3回発行とし、第I号第II号を全会員に届けた。第III号は9月1日に発行する。

(4) 「ITC-J通信」は役員会からのお知らせとして月一回発行し、現在までに12回発行した。

(5) 役員会は各委員会が主体的に活動できるようサポートをした。

(6) 「教育マニュアル」を再びWEBサイトに載せるために、各カOUNSLから1名ずつ推薦された委員からなる教育マニュアル検討委員会を設置した。今期中にWEBサイトに掲載する。

(7) 会員の講師を募り、クラブやカOUNSLで活用してもらう為の「サポートビューロー」を設置した。

(8) 第41期年次大会の全体講演を池谷裕二 東京大学薬学部教授に依頼し、教育セッションは6部門で行う。

(9) 名刺サイズのリーフレットのデザインを公募し、3点のデザインを会員が自由に使えるようWEBサイトに掲載した。

(10) カOUNSL No.3川西クラブの設立を認証した。

(11) 第41期のスピーチコンテストは英語部門と日本語部門の2部門にて行う。

ITC-J第41期年次大会は2023年7月5日、6日の二日間大会テーマ「仲間がいてこそ」のもとホテルイースト21東京にて開催中である。

以上

ITC-J第41期書記 川崎邦子  
2023年7月5日採択

## 役員からのメッセージ

### 年次大会を終えて

第一副会長 後藤 英子

年次大会が無事に終わり、今は達成感と安堵感に浸っております。一年間、ITC-J中心の忙しい毎日でしたが、本当に楽しく充実した日々でした。

皆様に喜んでいただける大会を開催できるようにとプログラム・教育委員会が一丸となって講演、教育セッションを企画いたしました。お陰様で講演もどの教育セッションも好評だったようで、会員の皆様から「爽やかな、楽しい年次大会だった」と嬉しい感想をたくさんいただきました。

後日、池谷先生からは「素晴らしい機会をくださりありがとうございます。素敵な皆様に囲まれて、本当に楽しかったです。写真も嬉しいです！宝物にします」

松本様からは「参加者の皆さんのあたたかさや前向きさで、話をしている私が元気をいただきました」とのメールがありました。会員の皆様の向上心を持って熱心に聴く姿勢とそれぞれの皆様の輝きを先生方も感じ取られ、このような感想をもたれたのだと思います。

ITC-Jの素晴らしさを改めて実感いたしました。

たくさんの笑顔に出会えて幸せでした。一年間、私を支えてくださったプログラム・教育委員の皆様は心より感謝申し上げます。

### 第41期を終えて

第二副会長 若林 裕子

年次大会で永年継続会員、新入会員最多クラブ、新入会員最多紹介者の表彰を無事終えることができました。クラブ、カウンスルの第二副会長にはお世話になり有難うございました。

昨年からカウンスルNo.3で芽生えた芽が実を結び、4年ぶりの新しいクラブ「川西クラブ」が誕生いたしました。カウンスルNo.3の役員の皆様と増設委員会そしてJ会員委員会の皆様は協力して、素晴らしい成果を迎えることができました。ITC-Jになってからクラブ設立の道筋などははっきりしたものがなく、手探りの状態で、役員会で検討して、新クラブ設立の手順などを定めてまいりました。

今期の最後にチャーター式典を迎える運びとなり、嬉しく、心からお喜びを申し上げます。

来期に向けて、カウンスルNo.3の皆様、増設委員会の皆様、会員委員会の皆様は温かく見守って、更に充実したクラブへ成長出来ますよう導いてくださることを願っています。

暫くぶりのJでのお役に、いろんな場に出会い、たくさんの学びの時を与えていただきましたことを心より感謝申し上げます。

会計 稲井 幾子

会計業務は年間を通してとても多忙でした。

役員会の承認を得て収支を管理し、各クラブからの会員の異動報告を受け、会員状況一覧表を作成し、会員の皆様には、月初に発行される「J通信」で異動報告を致しました。

今期41期は、多目的フォーム、送金送り状の配信先をITC-J及びカウンスルの二ヶ所に変更致しました。それに伴い、事務管理委員会へは会計より転送となりました。

また、送金手数料軽減目的であった「ゆうちょダイレクト」の振込廃止に伴い、ゆうちょダイレクト「トークン」を導入し、繁忙時にゆうちょ銀行に行くことなく、自宅、その他に於いても振込みできる簡素化は各会計の方にお勧めします。

各カウンスル、クラブの会計の皆様には一年間大変お世話になり、改めてお礼を申し上げます。

## 委員会からのメッセージ

### 教育マニュアル検討委員会

委員長 西村みつ子

前期にウェブサイトから一旦取り下げられた教育マニュアル（空色の表紙）を、昨年来6回のZoom委員会を重ねて検討してきました。

委員会のメンバーは、各カウンスルより一人ずつ推薦された会員から成り、役員もオブザーバーとして出席しました。毎回侃々諤々と議論され、細やかに検討されました。

この度ようやく検討が完了し、2023年改訂版として再びウェブサイトに掲載されました。

ITC-Jマスターマニュアル（紺色の表紙）、議事法マニュアル（黄色の表紙）はすでに皆様お持ちですが、比較的新しい会員の皆様にも使いやすく、便利な参考書として役立てていただけることと思います。

委員の皆様のご多大なご協力に心から感謝致します。経験豊かな委員揃いでしたが、口々に「この委員会の活動を通して大きな学びがあった」と感想を述べてくださり、改めてITC-Jの学びの奥深さを感じました。

新生教育マニュアルが会員の役に立ち、愛されることを願っております。

### 事務管理委員会

委員長 浦濱 恭子

#### 事務局から事務管理委員会へ

40期と41期、井上純子委員とともに事務管理を担当しました。

40期の事務局は、前年の会則修正で、会則に「事務局」という名称だけ残り「任務は全て削除」されたため、役員会に一つ一つ確認して進めました。最初に取りかかったのは、前任者から届いた大量の段ボール箱を開けて中身を細かくリストアップ。旧ITCの貴重な教育資料は希望する会員に郵送で配布して、保管している箱の数を減らすことができました。

41期は、前期末の会則修正で「事務管理委員会」になり、任務として ①物品資料の販売 ②新入会員の会員証発行 ③Rosterの作成と販売が会則に明記されました。物品販売は全て郵送ですので、会員のお手元に迅速に損傷なく届くよう梱包に気をつけました。

そしてRosterには、今までもさまざまな意見があることを承知しております。前期末の会則修正審議においては意見がなく、会則の任務にそって作成しました。今期は記入方法が少し違うクラブがあり問い合わせた結果、事務管理委員会の役割として、提出された名簿をそのまま印刷会社に送りました。Rosterの形式を考える時期に来ているのかもしれないと思います。

事務局から事務管理委員会へ節目の2年、事務管理を通して会員と交流できて有意義でした。

皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 特集 「プリズム」

## No.2 三田クラブ



三田クラブ副会長 清水 陽子

今期早々、新入会員を迎える事が出来ました。

三田クラブでは従来副会長がプログラム・教育委員長と会員委員長を兼任しておりましたが、会員増強に力を注ぐには兼任ではどうしても力が及ばないので、専任が必要との思いが強く第二副会長の席を復活し、その任に当たりました。

「好奇心旺盛で行動力や判断力に長けた」ITC-Jにピッタリと思われる方がおられました。2年前より親交のあった方です。

ITC-Jについて充分時間をとり、熱意をもって何回も説明を繰り返した結果、理解を得られたようです。ご家族も快く応援してくださっているとのこと。

前期後半より例会にゲスト参加され、今期9月例会で導入式の運びとなりました。

早速、カウンスル会合やITC-J年次大会にも出席され、今では三田クラブにはなくてはならない一員となりました。

## No.4 福山クラブ



福山クラブ第二副会長 豊田 麗子

福山クラブの会員は期首は14名でしたが期末15名になり来期そうそうには16名になります。今期目標は会員の増員、会員の維持でしたので目標は達成です。カウンスルNo.4のサニーサイドに寄稿したクラブ自慢にも書きましたが、会員の年齢も40代から80代と幅広く、ギャップがある事がプラスになっている面もあるかと思えます。新しい事は若い人、経験したことは

年配の方にとお互いに良い所を吸収し合い、コミュニケーションが良く取れた明るく前向きなクラブです。Zoom例会も早く取り入れてコロナ禍の中でも一度も休会はありませんでした。会員が少ない中でもプログラムは充実していてパワーポイントではグループにわかれて3ヶ月かけて作った作品を発表したり、楽しい中にもスピーチ力が上がる「なりきり結婚披露宴でのスピーチ」など楽しい企画もありました。

今期は10回の例会のうち7回の例会にゲストの参加がありました。ゲストが来られることによりクラブの活性化と新入会員の入会に役立ちました。

## No.4 安芸クラブ



安芸クラブ第二副会長 萱島 頼子

安芸クラブは35周年を迎えました。今期は、転勤などで2名退会、2名が入会して、現在25名です。

35年の歴史の中ではいろいろな出来事がありました。1988年に29名でスタートし、20期は6名まで減少、その後カウンスルやひろしまクラブ重複会員の力を借りて再生の道を歩み、30周年は30名で迎えることができました。今は、25～27名で推移しています。

ITC-Jのリーダーシップやコミュニケーション技術を学ぶには、ある程度の人数が必要と信じ、毎年のクラブ目標に「会員の維持と増員、30名例会を目指す」を掲げ、会員が地道に取り組んでいることが結果につながっていると考えます。

会員の声掛けでゲストが参加される時は、通常の例会を見ていただき、活動を理解していただいた上で、入会をお勧めしています。年代や経験も幅広く、多様な個性を持つメンバーで構成されており、失敗も体験しながら、ITC-Jの活動を楽しく学んでいる姿に共感いただいているのではと思います。

## No.7 倉吉クラブ



倉吉クラブ第二副会長 岸本 絹子

お陰様で、倉吉クラブでは、今期も、1名の新入会員を迎えました。新入会員にお伺いしたところ、例会にゲストで参加した時に、倉吉クラブの雰囲気が明るく、優しくて、キラキラ輝いている人達の集まりだと感じ、「自分も仲間に入れたら楽しいだろうなあ。一緒に勉強がしてみたいなあ」という思いを抱き、入会を決意されたそうです。倉吉クラブの会員は学ぶことに前向きで、パワフルで明るく、年齢を感じさせない方々ばかりで、それぞれがコミュニケーションの達人です。会員歴の長い短いに関わらず、役割に応じて例会の準備をきちんとこなし、毎例会を素晴らしい出会いと学びの場に作り上げます。この充実感は何物にも代えがたいものです。ただ真面目に勉強するだけでなく、例会後にお食事をしながら楽しくお喋りすることで人生の色々なことを学び、良い影響を与えてもらうこともできます。このことが、新入会員獲得と会員の維持につながっていると考えます。

## No.7 出雲クラブ



出雲クラブ第二副会長 楠 智加子

出雲クラブは、2人の新入会員をお迎えすることができました。今期、クラブ一番のトピックです。

コロナ禍において対外的には会員増強の活動はできていないのですが、会員がこの人ならITC-Jでの学びを一緒に楽しんでくださるだろうとお声がけをし、ゲストとして例会にご招待しました。お二人とも、緊張感ある雰囲気の中でも会員が楽しく学ぶ姿と優しさに魅力を感じて入会を決めてくださいました。会員が共に学び楽しむことができるクラブの雰囲気づくりを心に留めて、活動することでITC-Jの魅力を知っていただく機会に繋がるように思います。

会員維持については難しい状況ではありますが、やむを得ず欠席されている会員へは機会をみて、お声がけをすることをそれぞれの会員が心がけるようにしています。そして、会員の不安を払拭するようお役についても配慮するなど工夫しています。会員全員が同じ気持ちで楽しく学んでいけるように努めていることは、クラブがとても心地よい雰囲気になっているように感じます。

少しずつですが、元の日常に戻りつつあります。ITC-Jの魅力をたくさんの人に認識していただき、共に学べる仲間を増やしていけるよう努めて参ります。

### 特集「プリズム」について

今期、編集では喫緊の課題である「会員数の維持と増強」にスポットを当てた特集「プリズム」を企画いたしました。

第Ⅰ号では ～会員数のアップ 取り組み・工夫～ として会員数の多い4クラブを取り上げました。

第Ⅱ号では ～会員のスキルアップ～ として会員数の少ない5クラブと1カウンスルを取り上げました。

第Ⅲ号では ～メンバーシップ力のアップ～ として、1年間の成果として新入会員獲得の8クラブを取り上げました。コロナ禍であってもコツコツと地道な活動によって会員増強となりました。

また、会員の熱意が実を結び待望の新クラブ「川西クラブ」が誕生しました。会員減少傾向の折、希望の星として歓迎されました。

## No.8 東葛クラブ



東葛クラブ第二副会長 宮崎ひろ子

東葛クラブは今期9名でスタートしました。1名が仕事の関係で例会への出席が難しい為通常は8名で活動しています。しかし彼が年2回受け持つ「なるほど経済講座」には毎回多くのゲストをお迎えし、活気あふれる例会となっています。

嬉しいことに今期は後半に新入会員を迎えることが出来ました。彼女は知人がいきいき活動しているITC-Jに興味を持ち、数回のゲスト参加の後メンバーになりました。やはり信頼する知人、友人の紹介は、ある程度会を理解しての入会となるので双方にとって安心感があります。そうして何よりも新入会員の存在は新たな視点での物の見方、人生の送り方など新しい風を、刺激を吹き込んでくれます。

当クラブは、家族、メンバー自身の健康状態などから対面例会が持ちにくい状況にあります。そのため新入会員へのサポートには、より根気よく対応する必要があります。

メンバーは協力し合い、新しい風が新旧両方の会員にとって心地良い物になるよう心を砕きながら活動を進めています。

## No.8 彩玉クラブ



彩玉クラブ第二副会長 小河原芳枝

彩玉クラブは地域と密にしています。

今年度、嬉しい事にお二人の入会がありました。会員の1人が常に彩玉クラブのパンフレットを持ち歩き、入会しそうな方に丁寧に説明し、又ITC-Jの魅力を伝えた結果入会につながったのだと思います。

又いろんなイベントを実施、多くの人に彩玉クラブを知っていただくよう努力を致しました。結果は残念ながら入会にはつながりなかったですが、沢山の方に発信できたことは良かったと思っております。

会員の中には市会議員、熊谷市で活躍する人(例えば男女共同参画委員、ピアノの先生、会社経営等々)が多く、この方々を通してPRをしております。

彩玉クラブは、男性1人、会員同士のコミュニケーションがよくとれていて、お役も皆で助け合い、終わってからのお茶会も和気あいあいと、楽しみの一つでもあります。

## カウンスルNo.3



### 「川西クラブ誕生の第一歩」

カウンスルNo.3増設委員長 中井恵例子

川西市で説明会を開いてほしいと予てより要望があり昨年7月に未来プロジェクト委員会は説明会を開催しました。歴史、教育を紹介し「今日の話」では参加者全員に即興スピーチをして頂きました。何よりうれしかったのはゲストの皆さんがとても熱心に参加されたことです。この学びを是非共有したいと思いました。8月に山崎会長は増設委員会を発足し委員長に任命されました。増設に向けての第一歩はITC-J役員会よりの新クラブ設立の手順に沿って模擬例会を開催することでした。新会員数が少ない事もあり前途多難でしたが計4回の模擬例会を行い徐々に新入会者も増え、新会員同士は良い雰囲気でのコミュニケーションが取れてきました。4回目の模擬例会を終えるときには新会員数は8名に増えていました。紹介者はゲストへ予備知識を伝えておく必要があります。又、老若男女問わずゲストには、ITC-Jで習得した学びを広め、コミュニケーション能力を生かして人生をより一層豊かにすることをお伝えすることも大切な事だと思いました。2023年5月1日ITC-J役員会にて川西クラブとして認証されました。ITC-J役員の皆様、会員委員会の皆様にはご指導いただき感謝申し上げます。これからは、川西クラブ継続への第一歩が始まります。

無から有を生み出すには多大なエネルギーが必要です。増設活動という貴重な機会を頂き、委員会の団結力と忍耐で乗り越えられました。ご協力ありがとうございました。この経験を忘れずにITC-Jの学びを未来の会員に向けて発信していきたいと思っております。

## 川西クラブ認証



カウンスルNo.3第42期において、新クラブ設立の要望をし、増設委員会が立ち上げられました。7つのクラブから9名の委員が選出され、委員長に中井恵俐子会員が選出されました。数回の増設委員会を経て、広く市民にITC-Jをまず知っていただくため、設立準備例会の後、川西クラブ模擬例会が4回行われました。以上を受けてITC-JとカウンスルNo.3で審議

が行われ、川西クラブとして5月1日に正式に承認していただきました。

川西クラブ第1回例会が5月22日に開かれ、6月26日カウンスルNo.3第2回会合中に、川西クラブ会員の紹介がされました。7月25日川西クラブチャーター式典が行われました。

川西クラブ会長 早崎美和子



### ～歓迎の言葉～

ITC-JカウンスルNo.3川西クラブがコロナ禍と高齢化の中、新たな一步を踏み出した事を、心からお祝い申し上げます。まず、この難しい時期にも関わらず新しいメンバーの方々が、私達の組織に加わってくださったことに心から感謝申し上げます。コロナ禍が我々の生活に大きな影響を及ぼした中で、クラブ活動も厳しい状況に直面しました。しかし、困難に立ち向かい一致団結して努力し、克服に向けて前進しました。新しいメンバーの皆さんが、このような試練の時にクラブへの参加を決断してくださったことに感謝しています。皆さんの意欲と情熱が、私達全員に勇気と希望を与えてくれました。

私達ITC-Jは単なる組織ではなく家族のような絆で結ばれたコミュニティです。そして家族はお互いを支え合う事が大切です。私達の組織は、まさに洗練されたエレガンスと深い絆が交差する特別な場所なのです。お互いが支え合い共に成長し、輝く未来を目指しましょう。これから皆さんと共に歩んでいけることを、心より楽しみにいたしております。新たな一步を踏み出したクラブのスタート地点として、より一層の素晴らしい活動を実現してまいりましょう。おめでとうございます。そして増設にご尽力くださった皆様の熱いご支援に感謝申し上げます。有難うございました。

カウンスルNo.3会長 山崎 直美

## ITC-J 会則修正案審議結果報告

ITC-J 第41期年次大会に於いて審議された ITC-J 会則修正案3件の審議結果

会則・決議委員長 布野泰子

### 修正案1. 3分の2の賛成で可決

現行表記	修正後の表記
6.1. 選出役員は 6.1.1. 会長、次期会長、 <u>2名の副会長書記および会計とする。</u>	6.1. 選出役員は 6.1.1. 会長、次期会長、 <u>第一副会長、第二副会長、書記および会計とする。</u>

### 修正案2. 賛成46票 反対9票 3分の2の賛成で可決

現行表記	修正後の表記
6.2.5. 書記は 6.2.5.a. <u>役員会が指示した会合の議事録草稿を作成し、承認を得て正式の議事録となる。承認された年次大会議事録は永久保存とする。</u>	6.2.5. 書記は 6.2.5.a. <u>役員会が指示した会合の議事録草稿を作成する。議事録草稿は承認を得て正式の議事録となる。年次大会議事録は議事録承認委員会によって承認された後、永久保存とする。</u>

### 修正案3. 賛成1票 反対多数で否決

現行表記	修正後の表記
6.2.5. 書記は 6.2.5.a. 役員会が指示した会合の議事録草稿を作成し、承認を得て正式の議事録となる。承認された年次大会議事録は永久保存とする。 6.2.5.b. 会長又はITC-J役員会の指示に従い通信事務を行う。 6.2.5.c. カウンسل役員名簿を保持する。 6.2.5.d. 年次大会における、公式の歴史となる役員会の年次報告書を編集する。年次報告書は永久保存とする。	6.2.5. 書記は 6.2.5.a. 役員会が指示した会合の議事録を作成する。 <u>承認を得た議事録に承認年月日を記入し、署名して保存する。ただし、承認前の議事録には (draft) と記載する。</u> 6.2.5.b. <u>年次大会議事録は議事録承認委員会によって承認され、永久保存とする。</u> 6.2.5.c. 会長又はITC-J役員会の指示に従い通信事務を行う。 6.2.5.d. カウンسل役員名簿を保持する。 6.2.5.e. 年次大会における、公式の歴史となる役員会の年次報告書を編集する。 <u>年次報告書は派遣員の承認を得た後、永久保存とする。</u>

## ITC-J 第41期年次大会 記念講演

講師

池谷 裕二氏 (東京大学薬学部教授)

演題

「脳を知って、脳を活かす」



講演PL 伊庭 あや

東京大学薬学部教授の池谷裕二先生をお迎えして「脳を知って、脳を活かす」をテーマにご講演頂きました。会場入りされた時から、終始柔らかな雰囲気と口調で私たちを笑わせたりしてくださる気さくな先生で、打ち合わせの間も笑いが絶えない打ち合わせとなりました。1時間半の講演もあっという間に感じてしまう楽しく興味深い講演で、会場からはたびたび笑いもおこり、皆様が前のめりで興味深く聴いていらっしやっただのが印象的でした。



「脳」の研究と聞くと難しい気がしていましたが、難しいことを簡単に楽しく説明してくださり、更には「年齢で脳の老化は決まらない」という内容に、誰もが希望を持った講演だったのではないのでしょうか。プログラム終了後、他クラブの方々からも労いのお言葉を頂き、会員の皆さまのコミュニケーション能力を改めて感じました。素晴らしい経験をさせていただきましたことを心より感謝しております。

## 教育セッション

### 教育セッションA

#### 組織も家庭も、悩みごとまで、ほめて解決！～ほめる達人セミナー～

講師：松本 秀男 氏



皆様がわくわくするようなタイトルで、参加者は100名余り。私達が日頃学んでいるコミュニケーションと大いに関係するお話を伺えるのではないかと楽しみにしておりました。組織も家庭もまさしく「ほめて解決！」という内容で、それぞれに事例を紹介されながら、どのような効果が出ているかも図で示していただき、とても分かりやすく、皆様の心をしっかりとキャッチしたお話をしてくださいました。

「ほめる達人」のミッションは、「誰もが尊敬しあえる世界にする事」。「ほめる」とは、価値を発見して伝える事であると、使用上の注意を含め教わりました。

先生と参加者が一体化し、参加者の目がキラキラと輝くような素晴らしいセッションになりました。受講された方々から、良い連鎖があることを心より願っております。

(プログラムリーダー 松山喜代子)

### 教育セッションB

#### 他人を惹きつける話し方は落語にあり

講師：三遊亭 あら馬 氏



多彩なご経歴で多岐にわたり活躍中のあら馬様、名は体を表すといえます。プログラムリーダーとしてどんな展開になるか想像できず心配していました。お会いしたら薩摩おごじょ+小股の切れ上がった江戸のお姐さんという感じ。ケセラセラをアレンジした出囃子で登場の途端、大声で聴衆の度肝を抜きました。

三話の古典落語をきちんと組み込みながら、話は上から下へ右から左へ前から後ろへ止まるところを知らず一回りして、元の話に戻り、ああそうだったのかと納得。基本の落語を覚えることはもちろん、時事・社会・芸能・スポーツ

あらゆる問題の今昔を知らなければ語れないし、超スピードの話し方に皆さん感心しきりでした。

昔からお客さんが役者を育てると言いますが落語も聴く方の知識を試される気がしました。熱心に聞いて頂いた証、何人かが質問してくださいました。

「誰かのエネルギーになりたいので楽しんでいただければ幸いです」あら馬様の言葉です。東京大会ならではのプログラム、有難うございました。

(プログラムリーダー 向井 節子)

### 教育セッションC

#### 「歌舞伎を楽しもう！」誰でもわかる歌舞伎のあれこれ

講師：金田 栄一 氏



—歌舞伎は江戸時代に庶民が作り上げた最高のエンターテイメント—

「歌舞伎は話の筋を見るのではなく、役者を見る」この先生の言葉に皆さん一気に引き付けられました。夫々の歌舞伎役者の家に伝わる伝統的な演目、それにまつわる衣装や踊り、着物の柄に至るまで江戸時代から今日まで大切に守っていられています。特にお化粧は役者の方が自分で考え、作品によっては独特の隈取で喜びや怒りを表すという事で、パワーポイントで具体的に説明をして頂きました。改めて歌舞伎の奥深さを教えていただきました。素晴らしいセッションでした。

(プログラムリーダー 前田 利子)

## 教育セッションD

### 「発酵マジック」

講師：古屋 弓子氏



日本は世界屈指の発酵大国であること、身近な味噌や醤油の元となる麴が、日本固有の「国菌」だということをご存知でしたか？私も含め多くの人にとって、最も身近な発酵は食品ですが、古屋講師と発酵との出会いは「家庭菜園の土作りだった」という自己紹介から始まりました。そこから、発酵の歴史、発酵食品の種類や効能など、スライドを使って、マジックのような発酵の世界を教えてくださいました。ひととおりの知識と理論に触れた後は、実践です。全員に配られた、怪しげな白い粉は「種麴」文字通り麴の素。この種麴を使っての「米麴の作り方」を伝授していただき、時間終了。発酵の世界に一步も二歩も踏み込んだ、充実した1時間半でした。（プログラムリーダー 村井さおり）

## 教育セッションE

### 「転ばぬ先の杖」～今から備える終活～

講師：武本 夕香子氏



弁護士としてご活躍のカウンセルNo.2阪神クラブ会員、武本夕香子氏の講演は温かい雰囲気での始まりでした。

「終活」の言葉がよく聞かれるようになった今、終活の一つとして備えておくべき知識、現実的な相続問題にいかに取り組んでいくかを興味深くお話しされました。

次に、それぞれ実際に遺言書の案を書いてみました。武本氏と2名の弁護士3人が皆さんの質問なども聞いてまわられとても楽しいワークショップが展開されました。頭を抱えながらの遺言書案への挑戦は、練習とはいえ改めて家族への思いや財産整理への一歩ができたのではないかと思います。

前向きなITC-J会員にとっては終活も楽しく活動できるのではと感じました。（プログラムリーダー 深澤佳代子）

## 教育セッションF

### Mini Workshop and Discussion on Cultural Differences in Speeches and Gestures

Facilitator : Ms. Margaret Sutherland



企画・PL は元ITC 国際会長のMargaret Sutherland と杉谷和代 (E神戸・城北)。プログラム発表者はオランダからの対面参加2名のワークショップ、Jから対面で1名のスピーチ、2名の英語落語、Zoom参加から1名(カナダ、元国際会長)のスピーチ、3名(シアトル)の近況とスピーチ。当日はHybrid形式で行い、対面参加は海外からの数名を交えて30名、Zoom参加は海外6か国11名(ニュージーランド、オーストラリア、オーストリア、オランダ、シアトル、カナダ)。ホテル側の技術サポートのお陰で少々の開会遅れだけにとどまり最後までインターネット環境は良好。最後に将来の計画を話し合い、交流の継続を約束できたことは将来に一筋の明かりが見えた。

(Program Leader Ms. Kazuyo Sugitani)

# ITC-J 第41期年次大会特集

2023.7.5~7.6  
ホテルイースト21東京

～仲間がいてこそ～

## 開会式



佐野会長



宣誓  
山崎直美



歓迎の挨拶  
山口久美子



会員代表挨拶  
伊藤容子



議会法規役員  
西村みつ子



派遣員資格確認委員長  
増井美恵子



書記代理  
山内昌子



指名委員長  
津田由貴



第一副会長  
後藤英子



会計  
稲井幾子



登録委員長  
中村洋子



インスピレーション  
中村千織



## 会長 進行



会長進行司会  
竹内ひとみ



カウンスル No.1



カウンスル No.2



カウンスル No.3



カウンスル No.4



カウンスル No.5



カウンスル No.6



カウンスル No.7



カウンスル No.8

# 議事



採決風景



大会冊子表紙



会則・決議委員長  
布野泰子



選挙委員長  
松本 敬



編集者  
清水典子



会計監査委員  
中村千代子



予算・財務委員長  
田中英子



教育資料委員長  
松下 忍



事務管理委員長  
浦濱恭子



派遣員席



国際交流委員長  
杉谷和代



外国からのゲストと通訳 小菅あけみ



ウェブサイト委員長  
加藤玲子



議事録承認委員



インフォメーション  
畑山はるみ



食事委員長  
饗場嗣析子



# 晩餐会



晩餐会お出迎え



乾杯



元ITC会長  
Margaret Sutherland



通訳 川崎瑤子



# 役員就任式



インストラリングオフィサー  
西田富美子



退任挨拶  
第41期会長 佐野千賀子



就任挨拶  
第42期会長 高山敦子



第41期役員退任式



新役員とテーマ



第41期任命役員



第42期役員就任式



晩餐会PL  
原田かおる



晩餐会タイマー



## 表彰



20年継続表彰・最多会員獲得表彰



50年・30年継続表彰



表彰執行 第二副会長  
若林裕子



50年継続会員 バルク良子

## エンターテインメント



## スピーチ コンテスト

ITC-Jのハイライトとも言われていますスピーチコンテストを何とか無事に終了することができたのは、会員の皆様のご協力があったのことに感謝しております。コンテストは英語の部4名、日本語の部は8名の出場でした。会員数減少のため大変な状況にもかかわらず各クラブよりコンテスト出場が実現しました。多くの会員がスピーチコンテストに苦手意識をもたれていますが、楽しんでスピーチをされていますコンテストに接してもパワーをいただく事ができました。聴衆の皆様と一つになって素晴らしいスピーチが披露され満足いただけたのではないのでしょうか。年に一度の出会いに喜びと幸せを感じたのはITC-Jの会員である絆だと実感できたように思います。



スピーチコンテスト委員長 代田有祐美

## 英語の部



英語の部優勝者  
小松利香子

小松利香子 カウンسلNo.3 クリスタル神戸クラブ

Subject : Dream(夢) / Title : Three Keys(3つの鍵)

皆さんには夢がありますか？その夢に向かって何をしていますか？今まで私はただ夢の実現に向け、何も行動していませんでした。そんな私が夢を実現させる3つの大事なことを見つけた話をします。

数年前、私はある水墨画の先生に出会いました。その先生は、新しい水墨画の世界を築き、世界に広めたいという夢をお持ちでしたが、突然2022年の8月にお亡くなりになりました。私はびっくりすると共に、先生の夢のお手伝いを何もしていなかったことを後悔しました。

そこで、毎日水墨画をInstagramに投稿するというチャレンジを始めました。このチャレンジで、次々に新たなチャレンジと信じられない出会いがありました。もし私が、初めに、毎日書き続けた水墨画をInstagramにアップするというチャレンジをしなかったら次の出会いはなかったと思います。先生的水墨画をもっと広めたいという夢のお手伝いをしたいから始まったチャレンジが、今は日本人女性アーティストとしてアートを通して多様性と平和と愛のメッセージを世界に届けたいという私の夢になりました。

夢の実現への3つのキーは、まず一つ目は継続して行動をすること、そして2つ目は人に出会うこと、そして3つ目はチャレンジすること。年齢は関係ありません。

あなたは素晴らしい才能の持ち主です。そして私を応援してくださる素晴らしい方々です。



英語の部 トロフィー授与



### 第1部 英語の部

順位	氏名 (カウンシル・クラブ名)	Subject	Title
1位	小松利香子 (クリスタル神戸)	Dream	Three keys
2位	藤木 桂子 (イースト神戸)	Writing	I Prefer Handwriting



英語の部タイマー



英語の部PL  
内山令子

# 日本語の部



日本語の部優勝者  
奥澤節子

奥澤節子 カウンسلNo.3 クリスタル神戸クラブ

論題：選択 / 題目：選択してチャレンジ

♪ もしも選べるなら舞台上で 眩しいライト浴びて死ねたら本望 ♪  
 苦手だった歌を歌うきっかけは阪神淡路大震災でブルーになった心をバラ色に変える為にシャンソンを選んでチャレンジしました。物心ついた頃から、すべき事したくない事を選択、小中高の12年間、学校は勉強するところ家は遊ぶところ予習復習宿題はしない事を決めました。

授業中は他に何も出来ない拘束時間、勉強するしかありません。知識欲は大いにあるので熱心に聴き頭に叩き込み理解出来たので復習の必要なし、宿題を提出しないので廊下に立たされましたが意志の強い私、宿題をしない方を選択。でも落ちこぼれではなく150人中トップ3でした。嘘と思われるでしょうが本当です。次のチャレンジは結婚。当時の若い女性の理想の結婚は家つきカーつきババぬき、私の結婚は家つきカーつきババつきジジつき3人の住み込みの従業員つき、如何に6人と付き合うべきか、友達になる事を選択。夫は大親友、舅姑は親友、従業員はただの友達。ピンポン大正解！頭と心の健康のため48歳の時、少し苦手なITCにチャレンジ。「ストレスは心のスパイス」ITCとシャンソンから香り高いスパイスを貰っています。兎と亀の競争のおとぎ話の主人公たちの将来を考えた事ありますか。亀は死力を尽くし過労死してしまい兎は楽しく暮らしていると思います。兎は前にしか歩けません。私84歳の兎年、楽しい事を選択チャレンジして…

♪ 生きている限り歌い続ける それが私の生きた証し ♪



日本語の部 トロフィー授与

## 第2部 日本語の部

順位	氏名 (カウンセル・クラブ名)	論題	題目
1位	奥澤 節子 (No.3クリスタル神戸)	選択	選択してチャレンジ
2位	讚井 良子 (No.1岡崎)	笑 (わらう)	私の人生傑作選
3位	田中真紀子 (No.8東京)	期待	途上です



日本語の部タイマー



日本語の部PL  
下手泰子



スピーチコンテスト委員会

## 閉会式



閉会の挨拶  
佐野千賀子会長



クロージングソート  
野津寛美



## 謝 辞

ITC-J第41期年次大会も、おかげさまでつつがなく終了することができました。

皆様を東京にお迎えするなら、まずは迎賓館と屋形船の観光コースで楽しんでいただき、昼食は東京名物のお弁当を用意したり、晩餐会のデコレーションは、SDGsを意識して会員が持ち寄った使用済みのリボンで作成したり、キットは、立場ごとに紐の色を変えたりと様々な工夫をしました。皆様、いかがでしたか。楽しんでいただけましたでしょうか。また、たくさんのお出会いと交流がありましたか。「仲間がいてこそ」年次大会を開催することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。参加・ご協力をありがとうございました。皆様のお心にいつまでも残る大会となりましたら幸いです。

大会準備委員長 山口久美子  
大会準備副委員長 市橋 和子



### 大会登録者数報告

人数 月日	会員	ゲスト		合計 (会員・ゲスト)
		特別ゲスト	一般ゲスト	
7月5日	320	5	48	373
晩餐会	288	2	26	316
7月6日	318	8	39	365
総数	324	13	53	390



プログラム・教育委員会

## 次期役員・次期指名委員

### 次 期 役 員

会 長	高 山 敦 子	(No.3淡路・クリスタル神戸 No.4バイリンガル西条 No.6言の葉)
次期会長	松 山 喜代子	(No.3西宮クラブ・クリスタル神戸)
第一副会長	大 原 慶 子	(No.1岡崎クラブ)
第二副会長	田 中 英 子	(No.7鳥取クラブ)
書 記	王 久美子	(No.5大阪クラブ)
会 計	末 廣 佳 香	(No.8東京クラブ)

### 次 期 指 名 委 員

田 中 和 美	(No.5大阪クラブ)
横 地 田鶴子	(No.1栄クラブ)
五十嵐 起久代	(No.4岡山クラブ)
山 崎 眞 知	(No.2三田クラブ)
下 手 泰 子	(No.7出雲クラブ)

## 年次大会案内



## 大会テーマ 「繋つなぐ」

開催日：2024年7月15日(月)・16日(火)

会 場：神戸ポートピアホテル

大会準備委員長	後藤 英子	(No.3姫路)
大会準備副委員長	藤川ひとみ	(No.3淡路)
大会準備副委員長	西島 敏子	(No.3淡路)

### カウンスルNo.1 50周年記念会合

カウンスルNo.1 第50期 会長 中村 千織

カウンスルNo.1は今期設立50周年を迎え、第3回会合を「50周年記念会合」として、佐野千賀子ITC-J会長をはじめ多くのお客様にお越しいただき、会員一同の協力のもと開催できましたことは、大変ありがたく感謝しております。記念式典では佐野会長より励ましのお言葉を、また祝杯の際は阪神クラブ三宮晶子さんからカウンスル設立当初の貴重なお話も伺うことができました。プログラムは



2つ用意、一つはカウンスルNo.1の歩みを振り返る映像を作成、ナレーションを付けて皆様にご紹介、その後の記念講演ではご当地徳川美術館の学芸部部長代理の吉川美穂様をお迎えし、尾張徳川家光友の御簾中千代姫について、また興入れの際の「初音の調度」、そこから源氏物語へと幅広く興味深いお話をお聞きすることができました。

半世紀を経ても、志を一つにする仲間と共に学ぶ機会が存続していることに、改めて感謝する一日となりました。

### 芦屋クラブ45周年記念例会

芦屋クラブ会長 中島由美子

5月24日ホテル竹園芦屋に於いて芦屋クラブ45周年記念例会を執り行いました。

会員紹介では、奇しくも全員がプログラムの楽しさに言及しました。祝辞では「教育の充実」を公約に掲げ、全国最年少の高島峻輔芦屋新市長は会員のコメントを取り入れ、的を得た素晴らしいスピーチ、福岡芦屋市ベテラン教育長のユーモアたっぷりのスピーチは、いずれも今後の教育が大切であること、ITC-Jの活動を長く続けてほしいと口にされ、拍手喝さいの会場は華やぎました。



講演は無形文化財保持者・能楽師 長山耕三氏の「能とは」「紡ぐことの大切さ」では経験を交えてのお話、芦屋縁の伊勢物語の在原業平にまつわるお話と謡「杜若」と「橋弁慶」を朗々と謡いあげられ、参加者は幽玄の世界へといざなわれ、会場はシーンと静寂状態でした。お別れの時、「素晴らしい記念例会でした」と、口々に絶賛くださった皆様の晴れやかなお顔を拝見し、私ども全員にとって、感謝、感謝の一日でした。

### 大阪クラブ45周年記念例会

大阪クラブ会長 田中 和美

5月15日、50数名のお客様をお迎えし、大阪クラブ45周年記念例会をホテル日航大阪で開催しました。午前中は記念式典を行い、会員各自が自己紹介をし、チャーターメンバー早川住江会員、坂口正子会員に45年継続の労をねぎらい、クラブから感謝状を贈呈しました。茶谷滋子会員、大谷富子会員にも当日お届けしました。お昼は大阪クラブ歴史映像を見ながら、昔話に花を咲かせました。午後はその生き方を推奨する人たちの文章の朗読をピアニスト 戸田恵氏の伴奏を入れながら行い、其々ゲストからご経験を踏まえたコメントをいただきました。近藤浩志氏のチェロと戸田恵氏のピアノのすばらしいアンサンブルの感動の余韻の中、クロージングソートで閉会しました。



## 西宮クラブ40周年記念例会

西宮クラブ第40期会長 佐伯 省吾

西宮クラブは、チャーター No.3160として1983年発足いたしました。チャーターメンバーはじめ、諸先輩方のご努力により、今の西宮クラブがあることに感謝申し上げます。これからの西宮クラブの方向性が問われる40周年記念例会でもあります。学びを通して自己啓発を行い、そして社会貢献のできるITC-J西宮クラブに成長しなくてはなりません。ITC-Jにおける学び、社会参加、社会貢献は、豊かな日々にも繋がります。西宮クラブは、社会と一体となれる教育団体を目指して4月4日「さえき」にて記念例会を迎えました。当日は、式典、会員スピーチ、祝宴懐石料理、「雅楽」のお話と演奏をお楽しみいただきました。そしてクラブの歴史を纏め、今後活用するために、「西宮クラブ



40周年記念誌」を発行いたしました。佐野千賀子ITC-J会長、チャーター式典の常田道子インストラリングオフィサー、皆様からお祝辞を頂き、至福の時間を持つことが出来ました。これからも先を見据えて努力して参ります。今後ともご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

## ひろしまクラブ40周年記念例会

ひろしまクラブ会長 高木 彬子

人生100年時代の人づくり基本構想として、生涯教育が話題に上がるようになりました。一度身に着けた技術や知識を学びなおし、「キャリアアップ」「キャリアチェンジ」を図るという考え方です。

ひろしまクラブの40周年記念はそこに焦点を絞り、ストーリーを組み立てました。

そこでまず、尊敬するITC-Jの実践者の方々に実話を伺ったり、又、美術館の“ピカソ展”でその原点を学び、視野を広げる機会を設けたりと、一貫性のある一年だったと感じております。

最後に、何時までも年配者が頑張るのではなく、次世代にバトンタッチの仕組みを考えねば、未来は拓けないと祈る気持ちです。



## 倉吉クラブ35周年記念例会

倉吉クラブ会長 米田 陽子

今期、倉吉クラブでは35年の記念すべき節目の年を迎えました。

当クラブの創立はカウンスルNo.7と同じく35年の歴史を積み上げ成長して参りました。12月にはクラブ間交流プログラム35周年記念例会を開催し、多くのゲストの皆様、他クラブ会員の皆様をお迎えしお祝いいたしました。



コミュニケーションの学びの場として、先人たちの尽力に感謝し、過去は事実、現在は進行中、未来は未定。過去があったからこそ今があり、変化を受け入れながら未来へと繋がって参ります。今を繋いでいただいた会員一人一人の努力に感謝し、あらたな一歩を踏み出すことを願っています。

## 彩玉クラブ30周年記念例会

彩玉クラブ会長 永井 眞澄

彩玉クラブは人数が少ないながら、30周年を迎えることができました。チャーターメンバーはそれなりに年齢を重ねて2人になりました。

30周年の記念行事は、会員一丸となって熊谷市の文化会館をお借りしてテレビでご活躍のお笑いタレント“桑山元 氏”をお迎えして楽しいワークショップをしていただきました。これがお客様にとっても評判が良くて嬉しい行事になりました。

地域との交流を密にしています彩玉クラブは、市長はもとより国会議員もお招きして、またITC-J第41期 佐野千賀子会長からは嬉しいお祝辞を頂き30周年の記念行事を無事に終えることが出来、感謝の気持ちで一杯です。



## 横浜クラブ30周年記念例会 ～横浜クラブの現在と未来～

横浜クラブ会長 藤原 真人



30周年記念例会は、Zoomによるオンライン形式にて開催いたしました。

カウンスルの垣根を越えて参加頂きました、22名のゲストの皆様には、改めて御礼申し上げます。

コロナ禍に、目に見えない危機感から、いち早くZoom例会を採用したことで、Zoomと言えば横浜クラブと連想されるまでになり、今回もZoom例会に拘りました。

「横浜クラブの現在と未来」というテーマは、過去と現在を知ることで、横浜クラブの未来を考えてみようという思いから決まりました。

最初に、現在を知るために「メンバーの持ち味を生かした過去のプログラム・ミニ披露会」を開催し、その後、「未来に向けたプログラム作成」の提案を致しました。未来に向けたプログラム作成に興味のある方は是非、横浜クラブの例会にご参加してください。

## クリスタル神戸20周年記念例会

会長 横山 末子

20年前高山敦子次期会長が最も尊敬する創設者アーネステイン・フランシス・ホワイト女史のモットーを掲げチャーターNo.4002として発足。優しく心豊かなコミュニケーションを目指し20年の歴史を刻みました。20周年記念例会当日は、140名の出席者をお迎えし、記念式典、クラブ歴史映像、祝宴、講演、プログラムは会員によるピアノ演奏、歌姫の共演、コーラスと会場の皆様も一緒にフロアでお祝い頂きました。昨年より英語クラブからバイリンガルクラブとして、親しみやすいクラブとして再スタート。メンバーは28名、アメリカ人を含むコスモポリタンクラブとして、ITC-Jの発展の為に貢献し研鑽を重ねて参りたく存じます。



## 第12回高校生スピーチコンテストを終えて

カウンスルNo.3第二副会長 立花 典子

今期、No.3では世代間交流をコンセプトに会員のスピーチコンテストと高校生スピーチコンテストを同日開催しました。初めてのことで戸惑い試行錯誤の繰り返しでした。また午前の部会員8名のスピーチ・午後の部高校生9名のスピーチと長時間のスピーチを聞くことは、聴衆の負担になるのではとの懸念がありましたが、逆に高校生の若者らしいスピーチに元気と感動を与えてもらいスピーチのすばらしさを味わうことができました。反省点や改善点は多々あり今後の課題ですが、新しいことにチャレンジすることで得られる感動と、No.3のメンバーがITC-Jで培ったコミュニケーション技術と行動力と協力に感謝した一日でした。



## 東京観光

### 観光Aコースに参加して

#### 赤坂離宮にて

真っ白な宮殿で日本の当時の最高の技術と美術に囲まれて、お姫様気分を味わいました。赤坂離宮ではお天気も良く何故か不思議と疲れがとれました。ここの掃除はどのようにするのかをお聞きしたら、水曜日が休館日なのでとのお返事。専門の業者に依頼するそうです。もちろん、貴賓を迎えるときには白い手袋で隅々を拭きあげてセキュリティ対策もされるのでしょうか。歴史が作られてきた場所で、何とも言えない気分を味わいました。

カウンセルNo.4 安芸クラブ 南郷みどり



### 観光Bコースに参加して

#### 屋形船に乗って

予想以上に広い屋形船の船内では美味しいお料理とお酒も入り他カウンセルの方との会話が弾みました。展望デッキでは360度の視界を楽しめ、グッドタイミングにもサンセットに迎えられ、レインボブリッジの迫力とスカイツリーの美しさなど東京湾の夜景を満喫し、屋形船という江戸情緒を伝える粋な一時を過ごすことができました。船内では「くじ引き」があり佐野会長が引かれた最初の「くじ」に運よく当選しました。私にとっては、第41期年次大会最初のイベントで幸先の良いスタートとなりました。ひとえに大会関係者のお陰です。心より感謝申し上げます。

カウンセルNo.3 ポート神戸クラブ 田中 基子



### 「第21期日本リージョン会長 村上令子様を偲んで」

村上令子様はクラブでは私の1年先輩でした。20年も前にリージョン会長を勤められた時にはその勇気と決断に感服したものです。細身の長身にしなやかな強さを秘めて、群れず騒がずいつも凛とした雰囲気の方でした。ファッションセンスも抜群で、毎例会のシックな装いが楽しみでした。

村上さんが会長の時に大会準備委員長を務めました。大抵のことは「いいわよ」と鷹揚に伝えてくださり、おかげで激務も楽しむことができました。「神秘の宇宙」というユニークな大会テーマを断固貫かれ、天の川の巨大なタペストリーを会員が制作しました。その時の嬉しそうなお顔が今も目に浮かびます。

名古屋クラブ 西村みつ子

### 「第29期日本リージョン会長 武内浩子様を偲んで」

武内浩子様は甲南クラブ第一期会長をはじめITCの数々の役職を務められました。

第29期日本リージョン会長でいらした時、リーダーシップに必要なものを問われ、「魅力的な人間であること」そして「一緒に活動して下さる会員へ感謝の気持ちを持つこと」と答えられました。

個人的にもITCにおいても敬愛する先輩のお一人で、気さくなお人柄で、“檀上の人”ではなくて、常に傍にいてくれるリーダーでいらっしゃいました。

熱意をもって活動されて、充実した人生を駆け抜けていかれた武内さん、当時のままの穏やかな笑顔の遺影は「がんばって!いつもあなたたちを応援していますよ」と語りかけてくれるように思えました。

令和5年4月12日未明 永眠 安らかにお眠りください。ありがとうございました。

甲南クラブ 鷺山 紀子

## 訃報

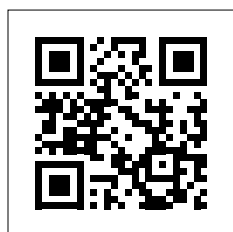
ITC-Jにおいて長年ご活躍くださいました会員が、ご逝去されました。  
謹んでお悔やみ申し上げますと共に、心からご冥福をお祈りいたします。

2022年8月13日	村上 令子様	元名古屋クラブ	第21期リージョン会長
2022年9月5日	小林 令様	元東京クラブ	第13期リージョン会長
2022年10月26日	竹田 清子様	カウンスルNo.2	イースト神戸クラブ
2023年4月4日	田上美津子様	カウンスルNo.4	安芸クラブ
2023年4月7日	山田 順子様	カウンスルNo.5	大阪クラブ
2023年4月12日	武内 浩子様	元甲南クラブ	第29期リージョン会長
2023年5月23日	伊藤 匡子様	カウンスルNo.1	名古屋クラブ

## ITC-J ウェブサイト会員ログイン方法



① 下記のQRコードを読み込む



② <http://www.itcjr.jp/> クリック

会員ページへログイン

ユーザー ID : 会員番号

パスワード : 会員の姓のローマ字小文字  
(例 : nihon)

### 編集後記

第Ⅲ号は期を跨いで発行となりました。年次大会へ参加されなかった皆様へ大会の雰囲気を感じていただけましたら幸いです。

多くの皆様に助けていただいて編集者としての任を果たすことができ感謝の気持ちでいっぱいです。特に第Ⅲ号では準備委員会の中の写真委員会の皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。

今期は、特集「プリズム」を組んで皆様と共に会員数の維持と増強について一年間考えてまいりましたが、社会情勢の厳しい中でも会員増を達成されたクラブもありました。また、期末には新しく川西クラブが誕生し、チャーター式典の様も皆様へお伝えできることはこの上ない喜びです。

この一年、編集作業を通してたくさんの事を学ばせていただきました。この学びは、これからのITC-J活動に、そして日々の社会生活にも活かして行けるものと思います。

寄稿依頼を快くお引き受けいただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

編集者：清水典子

コロナの不安が残る中であって、会報の作成に携わり多くのITC-Jの皆様を知ることとなりました。今期の特集「プリズム」では、少ない人数にも拘らず企画を練って取り組むお姿や、新入会員を迎えられたクラブ、そして新しいクラブの誕生と、まさに前向きなITC-Jを知ることができたことは、編集に携わる私にとって価値ある時間となりました。そしてJ大会での皆様の笑顔に触れることで今後の更なるITC-Jを見る思いです。

スタッフ：遠藤玲子

コロナ禍を乗り越えて、活動が徐々に再開し始めた喜びを感じる一年でした。その集大成としてのJ大会では、笑顔で会員同士が会える喜びがありました。掲載した写真の中からもそれが皆様に伝わったのではと思っています。(本当は全部の写真を掲載したい気持ちでいっぱいでした) 来期はさらなる飛躍の年になることを祈っております。

スタッフ：下手泰子

## ITC-J 宣誓

ITC-J Pledge

我々、インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション-ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

## ITC-J 声明文

Mission Statement of ITC-J

ITC-J の使命は、ITC-J の目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた成熟した社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC-J is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of Interactive Training in Communication-Japan and benefit the society by providing mature individuals.